

若手エンジニアステップアップセミナー

県立大学では、企業エンジニアの基礎的工学知識の習得を支援する『若手エンジニアステップアップセミナー』を毎年開講しています。平成25年度は、

「機械系コース」「電子情報系コース」「生物工学系コース」「環境工学系コース」の4コース合わせて35社から74名の方が受講されました。

ステップアップセミナーの特徴

その1:企業メンバーを中心とした運営会議をコースごとに実施している

カリキュラムに企業の生の声を取り入れるため、研究協力会会員企業から各コース4~5名の企業エンジニアの方から、カリキュラムについてご要望・ご意見をいただく運営会議を実施しています。運営会議はコースごとに、カリキュラム確定前(6月頃)、セミナー終了後(12月頃)の年2回、合計8回開催しており、各コースの担当教員が毎年カリキュラムを改善しています。

その2:研究協力会会員への受講料半額助成がある
平成25年度は、研究協力会の26企業62名の方へ受講料を助成しました。

その3:平日夕方(18:00/18:30~20:00)に実施するので、会社帰りに受講可能

毎日忙しい若手エンジニアのみなさんでも、出席率は9割を超えています。

その4:開講前に受講者の要望を確認

10名~20名程度の少人数制だから、受講者の要望に応じて講義をカスタマイズできます。

その5:環境工学系コースはCPD制度に対応(平成25年度~)

CPD単位の取得は、主に建設系のキャリア証明として、プロポーザルにおける技術者の評価基準などに活用されています。

大好評

受講者の声

- ・大学で学んだことを思い出す良い機会になりました。
- ・演習や実験もあり、普段の業務で使う知識や技術について理解を深めることができました。
- ・他の受講者や大学の先生方とのつながりができました。



生物工学系コース中島教授の講義の様子

富山県立大学産学官連携環境シンポジウム

平成25年12月13日(金)富山県民会館において、「富山県立大学産学官連携環境シンポジウム-大学が地域とつながる、地域をつなげる-」が開催されました。このシンポジウムは、大学が取り組んでいる環境教育や環境調和型先端技術開発研究、産学連携事業等について情報発信するとともに、企業関係者等に環境人材育成について理解を深めていただくために開かれたものです。

基調講演では、滋賀県立大学 理事・副学長の仁連(にれん)孝昭氏が「地域の自然と社会から学び、地域と連携する-滋賀県立大学の取り組み-」と題してご講演されました。また、パネルディスカッションでは



「黒部川扇状地の地下水資源の持続的利用」、「世界遺産五箇山合掌造り集落の茅場の再生・保全」というテーマのもと、大学が地域と連携し、地域の課題に取り組むために大学に期待することなどについて、産学官のそれぞれの立場から議論が展開されました。

コーディネーター：富山県立大学 松本三千人教授

パネリスト：YKK(株)黒部事業所環境グループ 村重誠吾氏、南砺市産業経済部農政課長 瀧由記男氏、富山県立大学 九里徳泰教授、富山県立大学 手計太一講師

コメンテーター：仁連孝昭氏(基調講演講師)